

IV 地域別情報

県では地域づくりの中心的役割を担う市町村に対して組織的な支援を行うことを目的として、県内6地域に地域県民局を設置しているが、地域ごとに産業や風土に様々な特色がある。

ここでは、地域の産業構造の比較やその特長を紹介するとともに、地域別の主な指標について掲載する。

地域県民局管内図

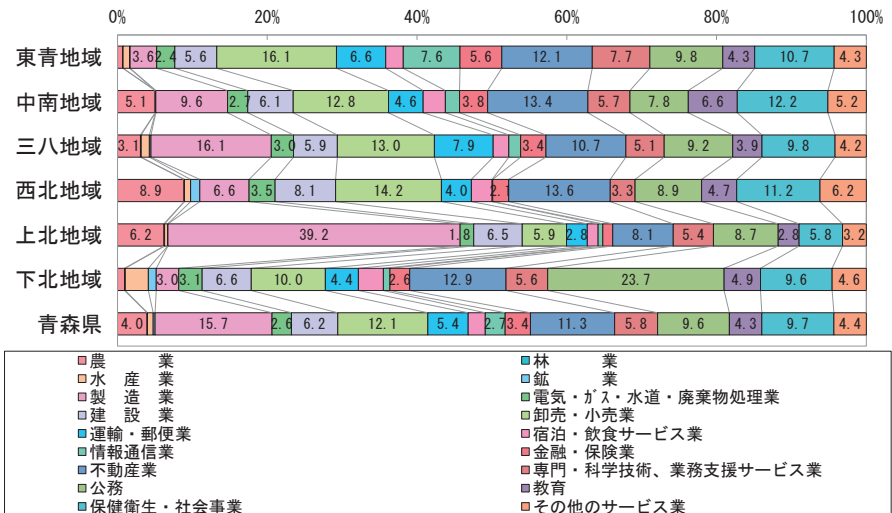


1 地域別の産業構造

各地域の域内総生産について、経済活動別に構成割合を見ると、上北地域を除いた5地域で第3次産業の割合が7割を超えており、特に、東青地域・下北地域では8割超と高くなっている。(図1)

他地域との比較では、総生産額の推計上、持家の帰属家賃の影響が大きい「不動産業」を除くと、東青地域・中南地域・西北地域は「卸売・小売業」、三八地域・上北地域は「製造業」、下北地域は「公務」が大きな割合を占めている。

図1 地域別の域内総生産（2017年度）



※ 税等を控除していないため、合計は100%を超える。 資料：県企画政策部「平成29年度市町村民経済計算」

※ 産業分類

第1次産業：農業、林業、水産業

第2次産業：鉱業、製造業、建設業

第3次産業：電気・ガス・水道・廃棄物処理業、卸売・小売業、
 運輸・郵便業、宿泊・飲食サービス業、情報通信業、金融・保険業
 不動産業、専門・科学技術・業務支援サービス業、公務、教育、
 保健衛生・社会事業、その他のサービス業

※ 持家の帰属家賃…持家の住宅から得られるサービスに相当する価値を見積もり、これを住宅費用とみなした場合に支払われるであろう家賃のこと。実際には金銭の受払を伴わない。

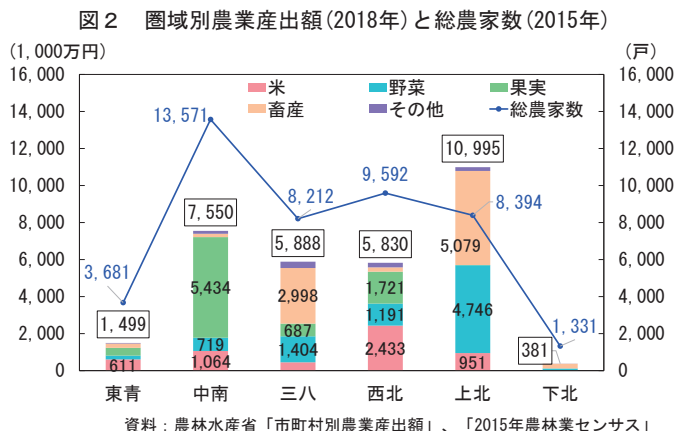
2 産業別に見る地域の特長

(1) 農業の盛んな中南・西北・上北地域

2018年の農業産出額は上北地域が最も高くなっており、県全体の約34%を占める。上北地域・三八地域は畜産や野菜、中南地域はりんごを中心とした果実、西北地域は米が多いなど、地域ごとに特長がある。

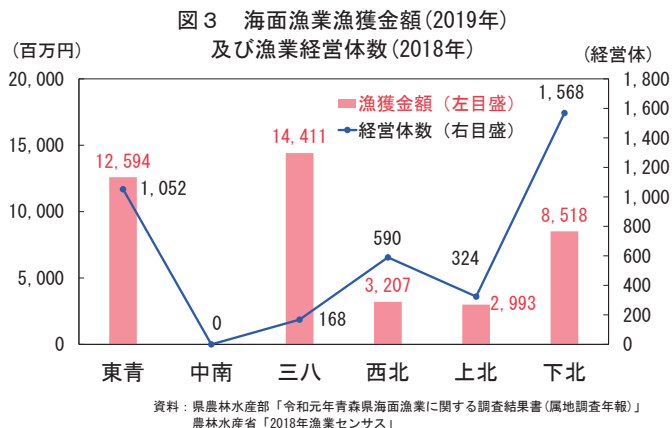
総農家数は中南地域が最も多く、次いで西北地域、上北地域の順となっている。

(図2)



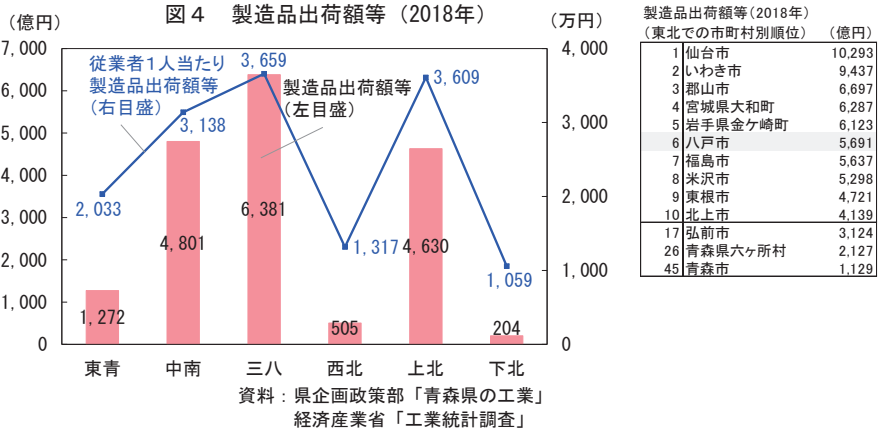
(2) 水産業の盛んな三八・東青・下北地域

2019年の海面漁業漁獲金額は、八戸港を擁する三八地域が約144億円と最も高くなったが、2018年の約174億円からは約17.3%の減となった。大規模経営体が多い三八地域は下北、東青地域と比べて漁業経営体数は少なくなっている。(図3)



(3) 製造業を支える三八・上北地域

2018年の製造品出荷額等は、八戸市での食料品、飼料、紙パルプ、鉄鋼などの出荷額が多い三八地域が6,381億円と最も高く、県全体の約35.9%を占めている。従業者1人当たりでも三八地域が最も高い水準となっている。(図4)

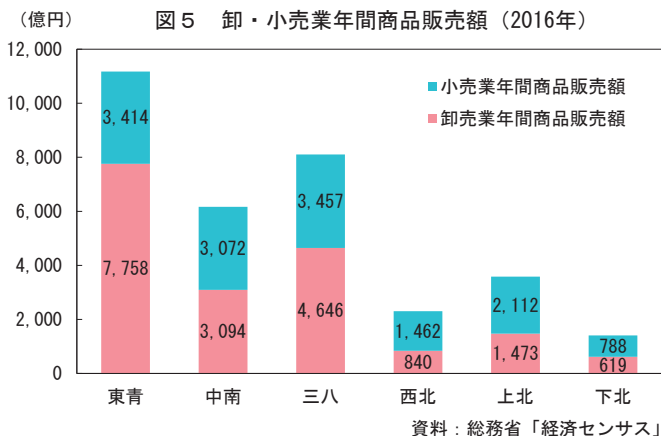


(4) 商業の中心地・東青地域

2016年の卸・小売業年間商品販売額をみると、東青地域が最も多く、このうち青森市が占める割合は約99%となっている。

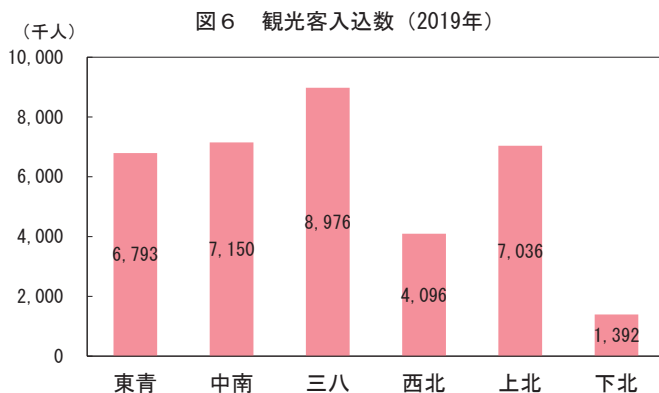
三八地域に占める八戸市の割合は約93%、中南地域に占める弘前市の割合は約80%であり、青森市、八戸市、弘前市に商業機能が集中していることがわかる。

(図5)



(5) 観光客が多く訪れる三八・中南地域

2019年の県全体の観光客入込数は35,442千人と、概ね前年比で横ばい(+1.2%)となっており、地域別では、三八地域が2010年から10年連続で最も高い入込数となっている。(図6)

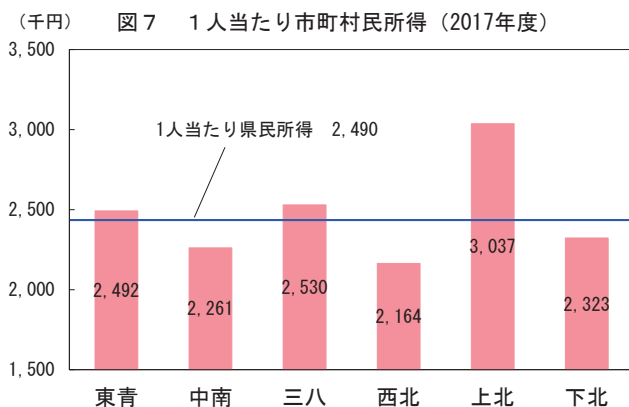


資料：県観光国際戦略局「青森県観光入込客統計」

(6) 1人当たり市町村民所得の高い上北地域

2017年度の市町村民経済計算における1人当たり市町村民所得は、六ヶ所村、西目屋村、おいらせ町、八戸市、東通村の順に高くなっている。

地域別では上北地域の3,037千円が最も高く、次いで三八地域2,530千円、東青地域2,492千円となっている。(図7)

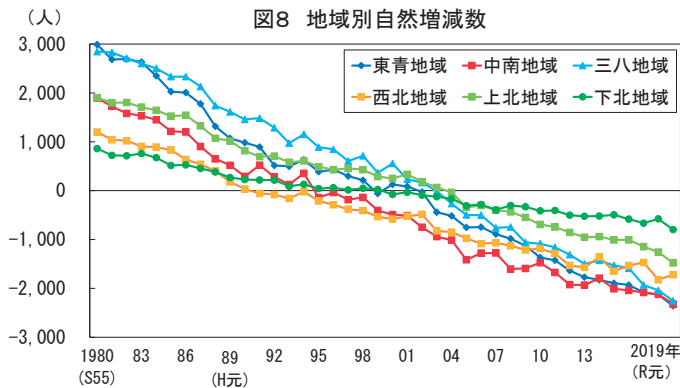


資料：県企画政策部「平成29年度市町村民経済計算」

(7) 各地域の人口動態

<自然動態>

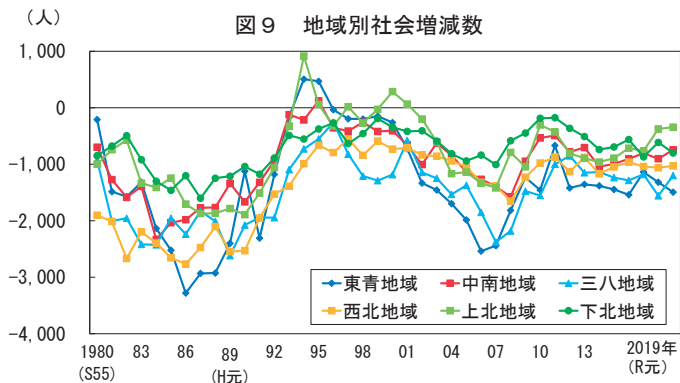
自然動態（出生数－死亡数）は、西北地域が他地域に先駆けて1991年から自然減に転じた。全県的に自然減に転じたのは1999年であったが、三八地域は2003年、上北地域は2004年と、比較的遅い段階で自然減となり、その後は、全ての地域において自然減が続いている。（図8）



資料：県企画政策部「青森県の推計人口年報」

(8) 各地域の社会動態

社会動態（転入者数－転出者数）では、特に東青地域や上北地域において年ごとに大きな変化が見られ、経済情勢等による影響を大きく受けているものと考えられる。三八、西北、下北地域では1980年以降一貫して、2002年以降は全ての地域において社会減が続いている。（図9）



資料：県企画政策部「青森県の推計人口年報」

3 地域の現状



東青地域

	人口（人）	世帯数	面積（km ² ）
青森市	278,964	136,457	824.61
平内町	10,791	4,907	217.09
今別町	2,560	1,412	125.27
蓬田村	2,740	1,147	80.84
外ヶ浜町	5,816	2,848	230.30
合計	300,871	146,771	1,478.11

資料：総務省（人口・世帯数、2020年4月1日現在、住民基本台帳）
国土地理院（面積、2020年10月1日現在）

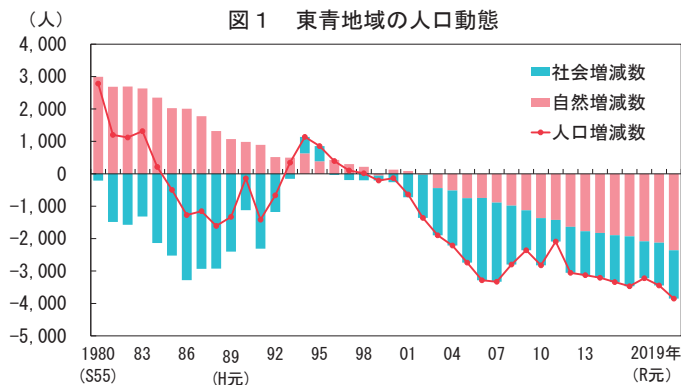
地点 青森	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	日照時間 (時間)	降水量 (mm)	降雪量 (cm)
平年値	10.4	27.7	-3.9	1,602.7	1,300.1	669
2020	11.6	35.7	-7.4	1,598.9	1,419.0	264

※平年値：1981～2010年の累年平均値

資料：気象庁

■人口動態

自然動態は、2002年以降減少が続いており、減少幅が年々拡大している。社会動態は、2007年以降は減少幅が縮小する時期もあったが、2013年以降再び減少幅が拡大傾向にある。（図1）

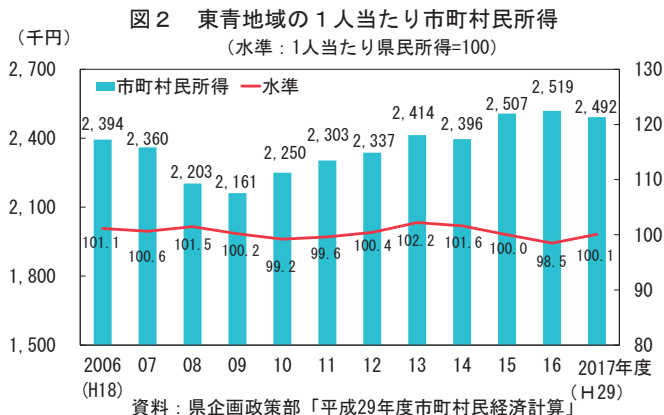


資料：県企画政策部「青森県の推計人口年報」

■ 1人当たり市町村民所得

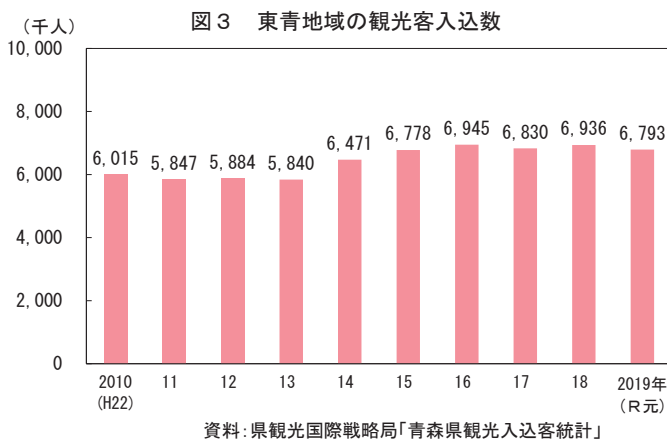
東青地域の1人当たり市町村民所得は、2010年度以降は概ね増加傾向にある。

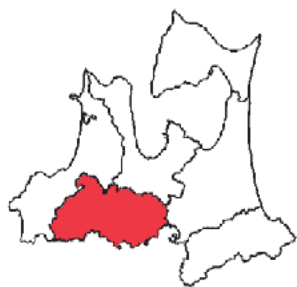
また、1人当たり県民所得に対する東青地域の1人当たり市町村民所得の水準は、2014年度以降低下していたが、2017年度は上昇した。(図2)



■ 観光客入込数

東青地域の観光客入込数は、2014年以降600万人以上で推移しており、2019年は年間約679万人となった。(図3)





中南地域

	人口（人）	世帯数	面積（km ² ）
弘前市	168,683	79,891	524.20
黒石市	32,900	13,818	217.05
平川市	30,938	12,051	346.01
西目屋村	1,340	556	246.02
藤崎町	14,921	6,068	37.29
大鱧町	9,322	4,201	163.43
田舎館村	7,720	2,797	22.35
合計	265,824	119,382	1,556.35

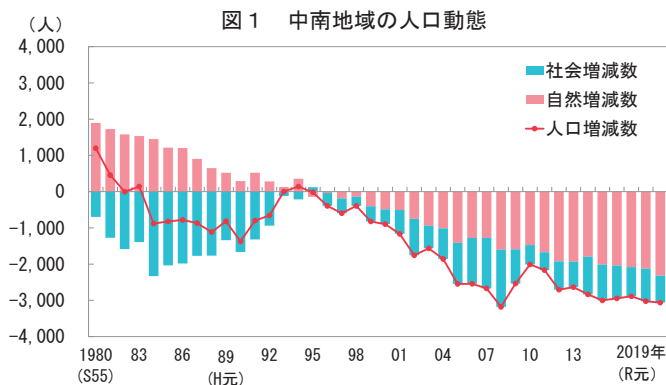
資料：総務省（人口・世帯数, 2020年4月1日現在, 住民基本台帳）
国土地理院（面積, 2020年10月1日現在）

地点	平均気温 （℃）	最高気温 （℃）	最低気温 （℃）	日照時間 （時間）	降水量 （mm）	降雪量 （cm）
弘前						
平年値	10.2	28.9	-5.0	1,597.5	1,183.1	748
2020	11.5	36.7	-8.2	1,647.1	1,433.5	343

※平年値：1981～2010年の累年平均値
資料：気象庁

■人口動態

自然動態は、1995年以降減少が続いており、減少幅も拡大傾向にある。社会動態は2014年以降の減少幅は概ね横ばいで推移している。（図1）

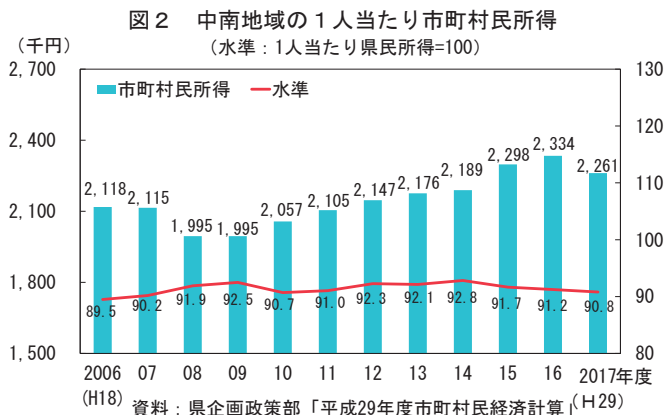


資料：県企画政策部「青森県の推計人口年報」

■ 1人当たり市町村民所得

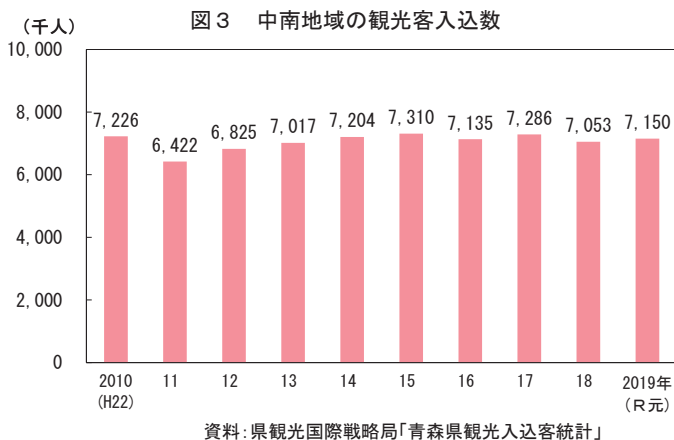
中南地域の1人当たり市町村民所得は、2009年度から増加傾向にあったが、2017年度は減少に転じた。

また、1人当たり県民所得に対する中南地域の1人当たり市町村民所得の水準は、2009年度以降はほぼ横ばいの状況にある。(図2)



■ 観光客入込数

中南地域の観光客入込数は、東日本大震災後に減少していたが、徐々に回復し、現在は横ばい傾向にある。(図3)





三八地域

	人口（人）	世帯数	面積（km ² ）
八戸市	226,541	108,889	305.56
三戸町	9,814	4,260	151.79
五戸町	16,880	7,006	177.67
田子町	5,353	2,142	241.98
南部町	17,754	7,430	153.12
階上町	13,342	5,973	94.00
新郷村	2,408	922	150.77
合計	292,092	136,622	1,274.89

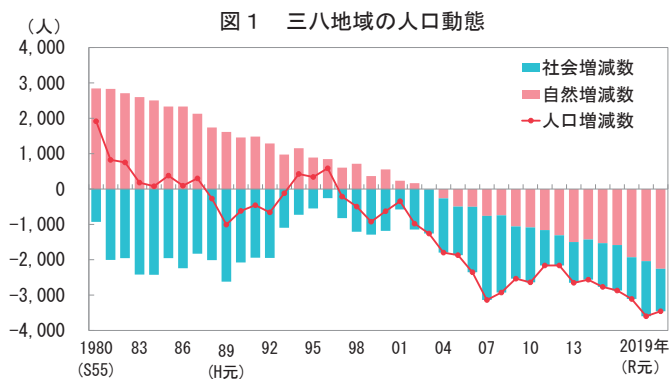
資料：総務省（人口・世帯数、2020年4月1日現在、住民基本台帳）
国土地理院（面積、2020年10月1日現在）

地点	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	日照時間 (時間)	降水量 (mm)	降雪量 (cm)
八戸						
平年値	10.2	26.5	-4.2	1,860.4	1,025.1	248
2020	11.3	35.5	-8.6	1,741.2	1,231.0	87

※平年値：1981～2010年の累年平均値
資料：気象庁

■人口動態

自然動態は、2003年に減少に転じて以降、減少幅が拡大傾向にある。社会動態は、2018年の-1,557人から2019年は-1,200人と減少幅が縮小した。（図1）

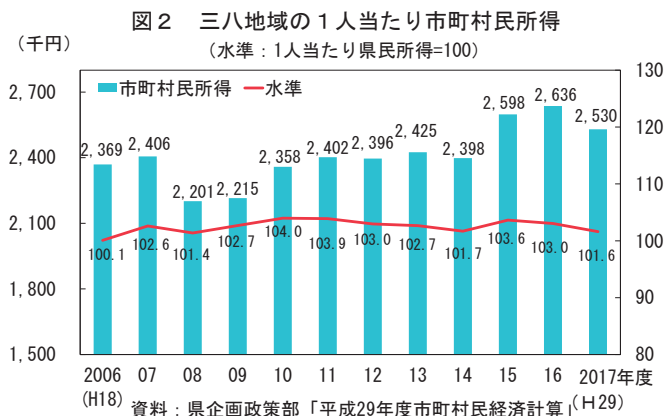


資料：県企画政策部「青森県の推計人口年報」

■ 1人当たり市町村民所得

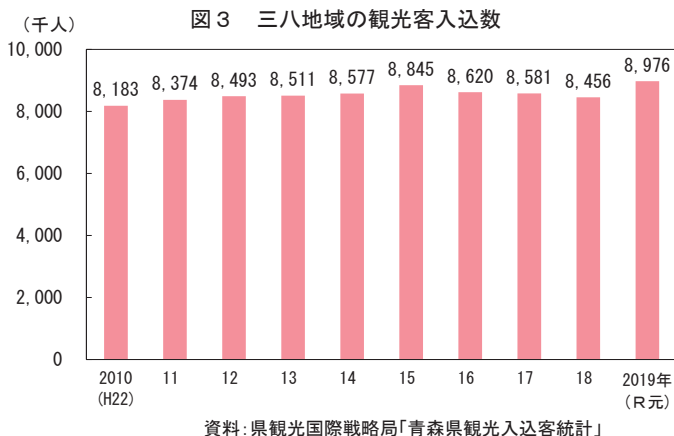
三八地域の1人当たり市町村民所得は、やや落ち込みが見られる年度もあるものの、ほぼ横ばいで推移している。

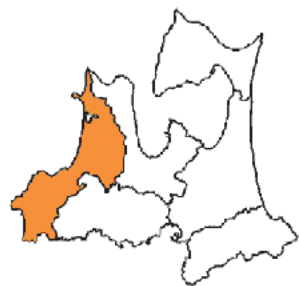
また、三八地域の1人当たり市町村民所得水準については、2015年度は上昇したものの、2016年度から減少に転じている。(図2)



■ 観光客入込数

三八地域の観光客入込数は概ね横ばい傾向にある。2016年以降は3年連続で減少したが、2019年は約898万人と増加に転じた。(図3)





西北地域

	人口（人）	世帯数	面積（km ² ）
五所川原市	53,576	25,568	404.20
つがる市	31,723	13,570	253.55
鱒ヶ沢町	9,613	4,542	343.08
深浦町	7,903	3,695	488.90
板柳町	13,332	5,450	41.88
鶴田町	12,604	5,382	46.43
中泊町	10,779	5,093	216.34
合計	139,530	63,300	1,794.38

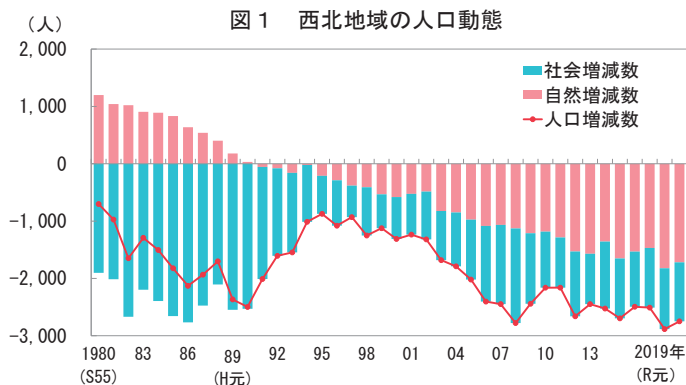
資料：総務省（人口・世帯数、2020年4月1日現在、住民基本台帳）
国土地理院（面積、2020年10月1日現在）

地点	平均気温 （℃）	最高気温 （℃）	最低気温 （℃）	日照時間 （時間）	降水量 （mm）	降雪量 （cm）
五所川原						
平年値	10.3	28.1	-4.6	1,549.9	1,223.8	582
2020	11.6	36.2	-7.8	1,607.4	1,414.5	206

※平年値：1981～2010年の累年平均値
資料：気象庁

■人口動態

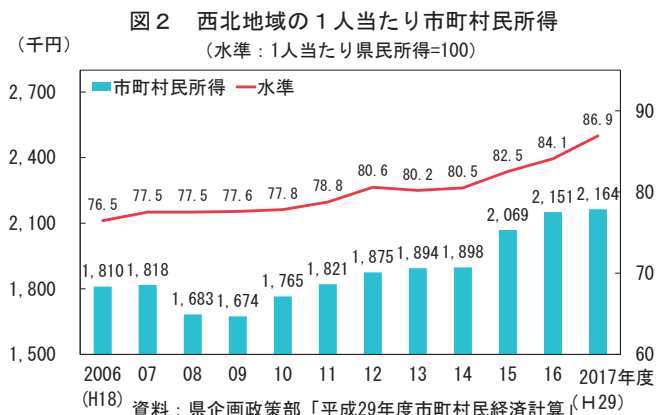
自然動態は、県内で最も早い1991年に減少に転じており、これ以降、年々減少幅が拡大してきている。社会動態は2009年から2011年までは減少幅が縮小していたが、2012年以降の減少幅は概ね横ばいで推移している。（図1）



資料：県企画政策部「青森県の推計人口年報」

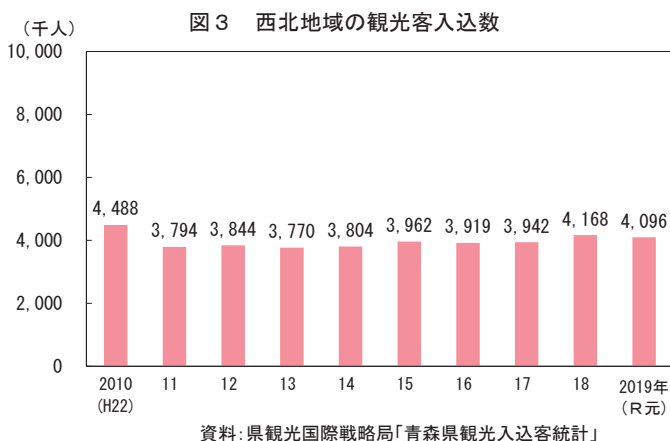
■ 1人当たり市町村民所得

1人当たり市町村民所得は、2010年度から増加傾向にある。1人当たり県民所得を100とした時の水準は他地域と比較して低い水準となっているが、近年上昇傾向が見られる。(図2)

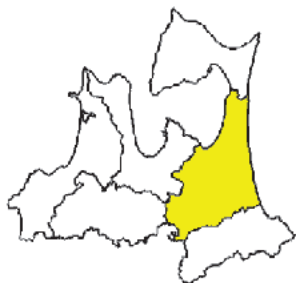


■ 観光客入込数

観光客入込数は、微増傾向で推移していたが、2019年は前年比-1.7%の4,096千人となっている。(図3)



上北地域



	人口（人）	世帯数	面積（km ² ）
十和田市	60,697	27,677	725.65
三沢市	39,093	19,233	119.87
野辺地町	12,956	6,466	81.68
七戸町	15,286	6,797	337.23
六戸町	10,994	4,519	83.89
横浜町	4,412	2,086	126.38
東北町	17,297	7,269	326.50
六ヶ所村	10,200	4,884	252.68
おいらせ町	25,149	10,423	71.96
合 計	196,084	89,354	2,125.84

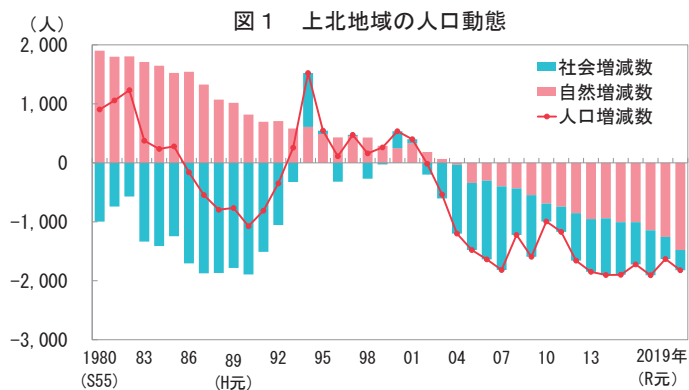
資料：総務省（人口・世帯数、2020年4月1日現在、住民基本台帳）
国土地理院（面積、2020年10月1日現在）

地点	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	日照時間 (時間)	降水量 (mm)	降雪量 (cm)
十和田						
平年値	9.5	26.9	-6.3	1,774.7	983.3	437
2020	10.4	35.1	-16.1	1,676.1	1,236.5	173

※平年値：1981～2010年の累年平均値
資料：気象庁

■人口動態

上北地域の自然動態は、2004年から減少に転じ、年々減少幅が拡大している。社会動態は2018年から減少幅が大きく縮小したが、2019年は自然増減数の減少幅が拡大したため、全体の人口増減数が拡大した。（図1）

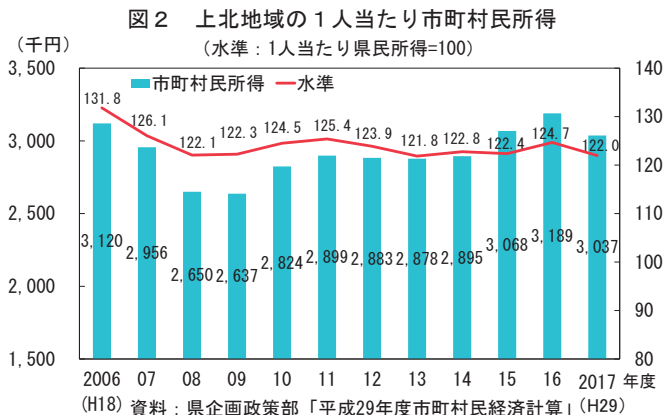


資料：県企画政策部「青森県の推計人口年報」

■ 1人当たり市町村民所得

上北地域の1人当たり市町村民所得は、非鉄金属製造業の製造品出荷額等の増加などにより大きく伸びていたが、2017年は減少に転じた。

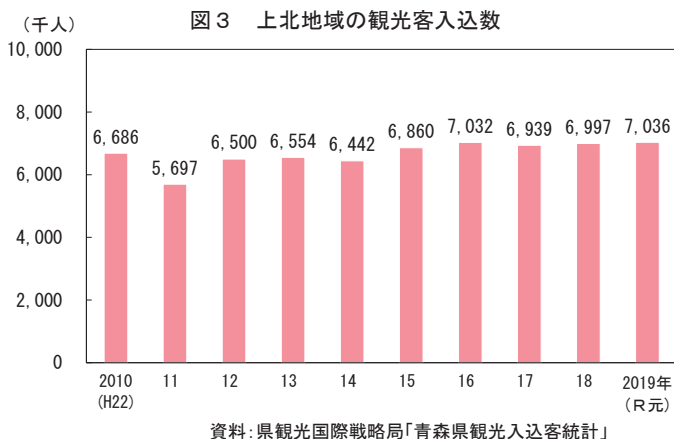
2006年度以降すべての年度で1人当たり県民所得を100とした水準を上回っており、他地域と比較しても最も高い水準にある。(図2)



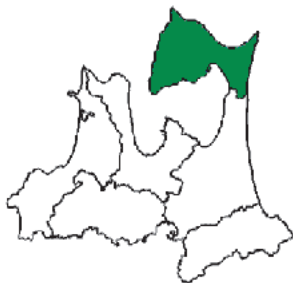
■ 観光客入込数

上北地域の観光客入込数は、東日本大震災の影響と見られる減少があったものの、近年は700万人前後で推移しており、2019年は7,036千人となっている。

(図3)



下北地域



	人口（人）	世帯数	面積（km ² ）
むつ市	56,244	28,778	864.12
大間町	5,155	2,497	52.1
東通村	6,254	2,815	295.27
風間浦村	1,833	914	69.55
佐井村	1,930	938	135.04
合計	71,416	35,942	1,416.08

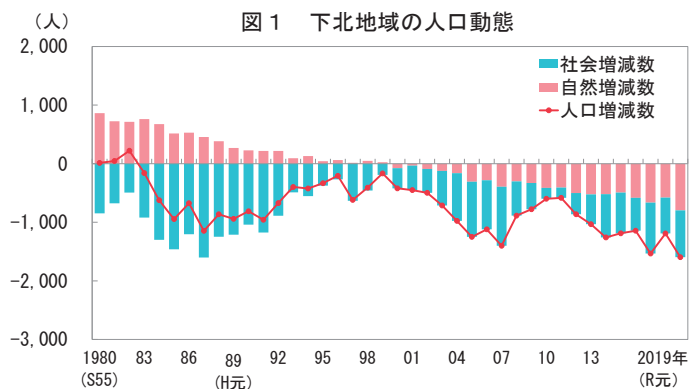
資料：総務省（人口・世帯数、2020年4月1日現在、住民基本台帳）
国土地理院（面積、2020年10月1日現在）

地点 むつ	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	日照時間 (時間)	降水量 (mm)	降雪量 (cm)
平年値	9.5	25.7	-5.3	1,608.9	1,342.0	514
2020	10.5	33.5	-14.3	1,456.1	1,385.5	213

※平年値：1981～2010年の累年平均値
資料：気象庁

■人口動態

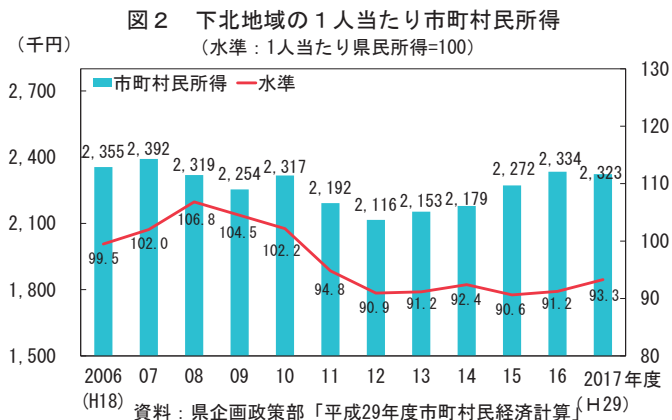
下北地域の自然動態は、2000年に減少に転じ、年々減少幅が拡大する傾向にある。社会動態では2018年は減少幅が縮小し、自然増減数と合わせた全体の人口増減数も減少幅が縮小したが、2019年は自然増減数の減少幅が増加したため、全体の人口増減数の減少幅が増加した。（図1）



資料：県企画政策部「青森県の推計人口年報」

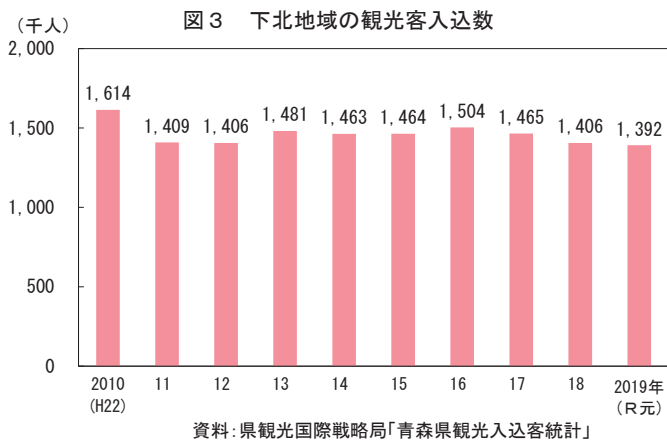
■ 1人当たり市町村民所得

下北地域の1人当たり市町村民所得は、2011年度と2012年度に減少が見られるが、その主な原因は企業所得の減少によるものである。1人当たり県民所得を100とした水準は低下傾向にあるものの、ここ数年は横ばいである。(図2)



■ 観光客入込数

下北地域の観光客入込数は、東日本大震災の影響で大きく落ち込み、その後徐々に回復していたものの、2017年以降は微減傾向にある。(図3)



4 地域のこが推し

東青地域のこが推し

◆気候と風土と地域の人が育んだ「極上トマト」(蓬田村)

蓬田村では、日中の寒暖差と清らかな水といった雄大な自然の恩恵を最大限に活かした極上のトマトの生産が盛んです。

例年夏から秋にかけて収穫される同村のトマトは「甘味・酸味・うまみ」のバランスが絶妙で、中にはフルーツを思わせるような甘味の強いものもあり、そのまま食べても料理に使っても濃厚で深い味わいを楽しむことができます。

村ではこの極上トマトを使用したケチャップなどの加工品を販売しているほか、地元の卵も活用したオムライスなどのメニューを提供している施設もあります。

トマトに対する考えが変わるかもしれない極上トマト、是非味わってみてください。



蓬田村のトマト

◆小湊のハクチョウおよびその渡来地！浅所海岸（平内町）

平内町の浅所海岸を基点とする夏泊半島一帯はハクチョウの渡来地として、文化財保護法により全国で唯一「特別天然記念物」に指定されています。

ハクチョウは例年10月中旬頃にシベリア方面から同地域に渡来し、3月下旬頃まで留まり、いつでもふれあうことができます。

また、夏泊半島一帯は、夏場はキャンプや海水浴を楽しむことができるほか、ウォーキングなどによりツバキなどの山野の花の観賞もできるなど、年間を通じて幅広い世代が楽しむことができるエリアです。

浅所海岸（夏泊半島）で自分の好きな季節を見つけてみませんか。



浅所海岸の白鳥

中南地域のここが推し

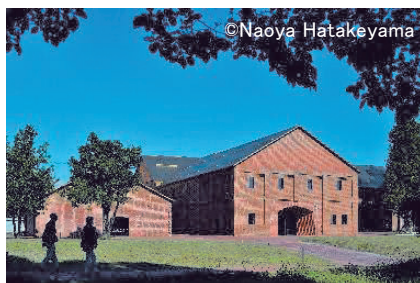
◆弘前市に新たな芸術空間「弘前れんが倉庫美術館」

明治・大正期に酒造工場として建てられ、約 100 年の歴史を刻んできた吉野町煉瓦倉庫が、2020 年 6 月、美術館として生まれ変わりました。

「記憶の継承」と「風景の創生」をコンセプトに改修された煉瓦倉庫、この美術館自体がアート作品のようです。

年間プログラムは、「春夏」、「秋冬」、「冬」の 3 つのシーズンで構成され、「春夏」、「秋冬」は美術館による展覧会を開催、冬シーズンは映画上映、パフォーマンスなどの特別イベントのほか、市民の様々な活動にも使用されます。

弘前市の街並みと調和した芸術空間。まち歩きをしながら、ふらりと美術館へというのも楽しそうです。



©Naoya Hatakeyama

建物自体がアート作品のよう

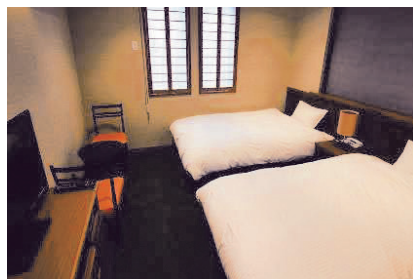
◆黒石市に「こみせの宿 ホテル逢春」^{ほうしゆん}誕生

木造のアーケードや酒蔵、商家などが建ち並ぶ黒石市中町こみせ通りに、2020 年 6 月 1 日、「こみせの宿 ホテル逢春」が誕生しました。

こみせ通り商店街振興組合が中心となり、気軽に使える宿泊施設としてオープンしたホテル逢春は、木造のアーケードをイメージした木目調の外観で、初めて来た人にも懐かしさを感じさせるやさしい佇まいです。

市内には手軽に入れる温泉銭湯が多数あり、郊外には温湯/落合/板留/青荷の黒石温泉郷があります。

黒石の伝統に触れ、温泉でのんびり、宿泊はホテル逢春でまったりと。素敵な旅になりそうです。



落ち着きある客室

三八地域のここが推し

東日本大震災から10年。三八地域では、震災を記憶し、自然に親しむスケールの大きな取組が、地域の元気づくりを応援しています。

◆総距離約1,000km「みちのく潮風トレイル」

トレイルとは、森林や原野、里山等にある歩くための道を指す言葉です。2019年6月、青森県八戸市から福島県相馬市までの太平洋沿岸をつなぐ総距離約1,000kmのロングトレイル「みちのく潮風トレイル」が全線開通しました。

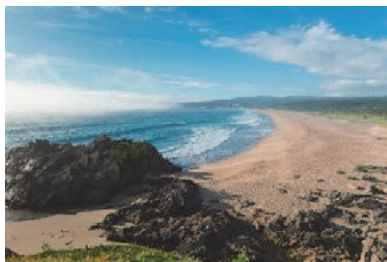


みちのく潮風トレイル

みちのく潮風トレイルでは、海を中心とした東北太平洋沿岸ならではのダイナミックで美しい景観や、地元に住む人々とのふれあいを楽しめる一方で、津波災害による痕跡が今も各地に残る等、自然の豊かさと厳しさの両面を感じることができます。北の玄関口である蕪島には、起終点であることを指すモニュメント「トレイルヘッドアンドエンドポイント」が設置されています。八戸市と福島県相馬市の2箇所にしかな設置されていない特別な場所ですので、記念撮影にオススメです。

◆日本一広大なジオパーク「三陸ジオパーク」

三陸ジオパークは、2013年9月に日本ジオパークとして認定されました。エリアは青森県八戸市から岩手県の沿岸を縦断して宮城県気仙沼市まで、南北約220kmと長く、日本一広大なジオパークとされています。



大須賀海岸の鳴砂

ジオパークとは、地球の貴重で美しい地形・地質、生態系と人類の歴史・文化との関わりを学び、体感することができる場所のことです。三陸ジオパークは、ダイナミックな海岸線が織り成す自然景観に加え、東日本大震災など、様々な自然災害を繰り返し経験した地域でもあり、自然災害に対する先人たちの営みや震災の記憶を学ぶことができる貴重な場所であることが特徴です。八戸市のジオサイトは、現在11箇所あり、蕪島や種差天然芝生地等、たくさんの見どころがあります。特に、蕪島はウミネコの一大繁殖地として有名であり、間近で巣を観察することができます。各地のジオサイトをめぐり、大地の魅力にふれてみませんか。

西北地域のここが推し

◆貴重なステンドグラスと大正浪漫漂う「宮越家住宅」（中泊町）

宮越家は江戸時代から代々地域を代表する豪農として栄え、明治以降も商業・金融業に進出し、地域経済の中心となっていた旧家です。その第9代当主が完成させた100年の歴史を有する邸宅が現在、大正浪漫漂うコンテンツとして注目されています。

屋敷内には主屋のほか、文庫蔵・米蔵・離れ「詩夢庵（しむあん）」などの建造物と、「静川園（せいせんえん）」をはじめとする庭園が所在します。

特に離れのステンドグラス作品は、わが国のステンドグラス先駆者である小川三知（おがわ・さんち）の最高傑作と位置づけられています。十三湖のほとりを描き上げた作品をはじめとする3点の作品は、歴史あるこの旧家のシンボルとして広く紹介されました。

中泊町は2020年までに「宮越家離れ」「宮越家主屋」などを町有形文化財（建造物）に、「宮越家庭園」を町記念物（名勝）に指定しました。2020年11月の一般公開には期間中に3110人の方が訪れ、町は今後も施設の整備と併せ、一般公開を行うことにしています。



ボランティアガイドがご案内



町名勝指定を受けている庭園

◆「あまびえたん」が人気の津軽金山焼（五所川原市）

津軽金山焼は、五所川原市東部の金山地区の大溜池の底に堆積する良質の粘土、風雪に耐えてきた山林の木質資源を生かし、1985年に誕生しました。

かつてこの地で生産されてきた平安時代の須恵器（すえき）の強い影響を受けた津軽金山焼は、1350度の高温でじっくりと焼きあげて固める「焼き締め」の手法が特徴で、深みのある独特の風合いをそなえた焼き物を生み出してきました。

近年では釉薬や漆を施した製品のほか、動物などを模した可愛らしいデザインのものも登場。新型コロナウイルス感染症が流行った2020年は、疫病退散を願うとされる妖怪「アマビエ」をモチーフにした「あまびえたん」が人気を集めました。同年冬には新たな窯も完成し、焼成中の窯内の様子を見学できるようになりました。



「あまびえたん」シリーズ

上北地域のここが推し

◆幻の発酵食「ごど」をご存じですか？（十和田市）

十和田市の一部の地域で昔から食べられてきた「ごど」が密かなブームになっています。

「ごど」は、大豆に麴と塩を混ぜて1週間以上乳酸発酵させたもので、ゆるく汁気のある納豆のような食感です。できたての頃は納豆に似ていますが、発酵が進むにつれ酸味が加わり、さらに発酵が進むと甘酒やチーズのような風味

も感じられます。昔から食べている人は「ご飯にかけるのがおいしい」と言いますが、青菜のおひたしにかけたり、ドレッシングのように混ぜるなど、野菜との相性も抜群です。

昭和の初め頃までは各家庭で作られてきたようですが、現在では作る人が少ないうえに、冬にしか仕込まないので、農産物直売所でも商品として出回るのはごく少量です。免疫力を高め、カラダによいとされる発酵食品ですので、おうちで「ごど」作りにチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。



伝統的な発酵食「ごど」

<「ごど」の作り方>

- 1) 大豆をフライパンで焦げ目が付くくらい炒る。
- 2) お盆に乗せた炒った大豆にビンや升などの底を押し当てて擦り、皮を取り除く。
- 3) 皮を取った大豆を一晩水に浸け、翌日たっぷりの水でゆでるか蒸す。
- 4) 3の大豆のゆで汁を別の容器に移したあと、ゆでた大豆に市販の納豆を数粒加えて蓋をし、こたつの中で一晩温める。ゆで汁は冷めたら冷蔵庫に入れる。
- 5) 一晩温めた大豆に、手で擦り混ぜた麴と塩、冷蔵庫に入れておいたゆで汁を混ぜる。
- 6) 1週間ほど冷暗所か冷蔵庫で寝かす。発酵具合で味が変わるので好みの風味で。

◆小川原湖でカヤック体験（三沢市）

汽水湖である小川原湖は、水産資源が豊富で「宝湖」と呼ばれていますが、近年ではアウトドアブームもあり、湖畔沿いに整備されたキャンプ場やコテージ、オートキャンプ場では家族連れなど多くの人が気軽にアウトドアを楽しんでいます。

そんな中、大注目なのはカヤック体験です。小川原湖の最深部は水深約25mですが、岸から200m程度は水深約2mの遠浅な湖のため、大人から子供まで安心して体験することができます。

太陽が八甲田連峰に向かって、湖面に輝きながら沈んでいく様はまさに絶景です。三沢市の大自然をぜひ体験してください。



家族でカヤック体験

下北地域のここが推し

◆にぎわいの新たな拠点「下風呂温泉 海峡の湯」(風間浦村)

2020年12月1日、室町時代から湯治場として栄えてきた風間浦村の下風呂温泉郷に新たな浴舎「下風呂温泉 海峡の湯」がオープンしました。文豪・井上靖が宿泊した旅館の跡地に建設された新浴舎は、浴槽や椅子など至るところに「村の木」であるヒバが使われており、入口に足を踏み入れた瞬間から優しい香りが体を包んでくれます。



「下風呂温泉 海峡の湯」

海峡の湯では、長年村民に愛され、惜しまれながら閉館した公衆浴場「大湯」「新湯」と旧長谷旅館の「井上靖ゆかりの湯」の3つの異なる源泉を楽しむことができます。2階には、井上靖が風間浦村を舞台とした小説「海峡」を執筆したとされる部屋が再現されているほか新島襄など村にゆかりのある著名人の展示コーナーがあります。

また、館内の食堂では鮫鱈やイカなど風間浦村が誇る海の幸が味わえます。特に鮫鱈は、近くの漁場で獲れたものをすぐに捌いて冷凍することで、いつでも鮮度の良い状態で味わうことができます。ぜひ足を運んでいただき、この素敵な空間でゆったりと癒しの時間をお楽しみください。

◆修道院ワイナリーを再現「卍ワイン」(大間町)

本州最北端の大間町にあるお寺「梅香山崇徳寺(ばいこうざんそうとくじ)」には、山ぶどうワイン「卍ワイン silent snow」を製造している全国でも珍しい寺ワイナリーがあります。

自家栽培の山ぶどう(改良種)を100%使用しているこのワインは、お寺の境内という静かな環境で、強制濾過を極力避け自然の沈降に委ねた製法で作られています。フルーティーでナチュラルな酸味とさわやかな微発泡が特長のワインです。



「卍ワイン silent snow」

また、このお寺では、境内の湧き水を活用してクラフトビールも製造しています。本州最北端の地ビールのラインナップは、ビールがピルスナーとラガーの2種類、発泡酒はピター、ペールエール、スタウトのほか期間限定商品もあり、パリエーションも豊富です。

このワインとビールは、お寺の直売所のほか下北管内のお土産物屋でも買うことができます。ぜひ下北土産に1本いかがでしょうか。